



# 研究会だより

## 副会長挨拶



株式会社 グランテック  
代表取締役社長 永井 理之

今年の一月一日新年早々に能登地方で大地震が起きました。年も明け、穏やかな正月を過ごしているところに、立ってはいられない程の大きな揺れが襲いました。すぐにこれは大変なことになると直感し関係者に連絡、被災状況の把握に努めました。当社も富山県氷見市に北陸支店があり、当日は大きく揺れ、その後も断水状態が続き、パソコンは何台か壊れ、戸が閉まらないとか、床に段差ができたとかの状態がございました。(写真1、2) 幸い社員には命に別状はなかったのですが、自宅が被災された者も多くいました。改めて被災された方々によりお見舞い申し上げます。



写真-1 事務所内被災状況



写真-2 事務所内被災状況

く分けて二つあります。ひとつは、精神的な苦痛。もうひとつは、金銭的な苦痛。予期せぬ事態なので当然ですが、例えば、新築間もない家が被災で傾いたとか、被災者が高齢で家を再建できないとか、地盤が軟弱すぎてもう住めないとか、等々被災状況は様々ですが、被災者は困っている。その困りごとを解決していくのが使命だとすると、そこに課題が見えてきました。

課題の大きなひとつは、修復費用の問題です。国や自治体からの支援金や補助金が出ますが、完全に金銭的に担保されない。地震保険に加入していれば別ですが、ある一定金額は自己資金で賄う必要があります。その問題課題にどう対応していくか。例えば、顧客の要望に合った工法の選択の自由度を上げられないか？ 具体的には、工法の価格の選択の自由度を上げられないか？ 価格で言えば、五〇〇万円ぐらいから一五〇〇万円ぐらいの工法ラインナップができないか？ そのための技術開発ができないか？ 実現可能なコスト算出ができるまでの技術開発です。そして、顧客にそのラインナップから選択してもらい決めてもらう。当然工法の特徴や利点、欠点を全て説明した上でということですが、災害復旧は平時とは違い、そんな臨機応変な対応が必要で、求められていると感じます。

今回の大地震で、当事業が社会的に大きな意義があり、大きな使命があることを再認識しました。

よって先の課題を解決できる技術進歩や技術開発が必要であり、構造物修復工法研究会がその先進を行く存在でありたいと願います。当研究会の理念「当研究会は、関連企業とも協力し新工法の共同研究開発を行うなどの技術の向上を図り、災害復旧や修復工事を通じて、構造物の安全と安心して利用できる環境の再生を支援します。」をより高度なものとするために。

そして今後とも構造物修復工法研究会は、当技術力をもって、一日も早い被災地復興のお役に立てるよう尽力してまいります。

## 建設技術展示会出展



写真-4 氷見市内被災



写真-3 氷見市内被災

### ☆建設技術展2023近畿

令和五年一月二日(木)、二日(金)の二日間、インテックス大阪にて、建設技術展2023近畿が開催されました。今回二二の企業・団体による二七六ブース出展され、会場展示二日間約一七、〇〇〇人の方の来場だったそうです。出展テーマは「防災、環境、コスト削減、安全・安心、施工、維持・更新、DX・ICT、団体、学校」の9の分野に分かれ、太平洋基礎工業との共同で施工の分野で出展致しました。

当日は、パネルのみを展示致しました。企業様は、多かったも



写真-5 ブース内来場者応対状況

### ☆建設技術フェア2023

#### in中部

令和五年二月六日(水)、七日(木)の二日間、ポートメッセなごやにて、第二七回目の建設技術フェアが開催されました。今回は過去最高の三七七の企業・団体が出展され、二日間近畿と同等の約一六、〇四〇人の方の来場されたそうです。今回は、太平洋基礎工業の協力でブースの一部を提供して頂きました。

当該ブースは、出展企業の方々はもちろん各市町村、建設会社、コンサルタント、学生一六四社二五八名にお立ち寄り頂き、当方も一生懸命PRさせて頂きました。そして、この一月月後には能登半島地震が発生しています。防災、災害復旧の立ち位置でこのような展示会で、研究会の存在感をPRする必要性を感じました。

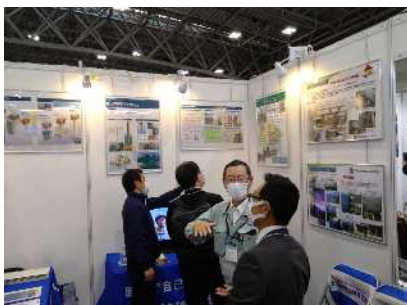


写真-6 ブース内来場者応対状況

## 住まいLIVEFAIR 2024協力

北陸最大級の住まいの総合イベントである「住まいLIVEFAIR 2024」が富山で一月二七日(土)、二八日(日)に開催されました。当研究会は、会員のグランテック様の要請により、イベント共催であります南陽吉久様

発行  
構造物修復工法研究会  
本部・東日本支部(太平洋基礎工業(株)東京支店内)  
東京都品川区南大井五二七七一  
Tel 〇三三二二九九八二三四四  
中日本支部(太平洋基礎工業(株)名古屋支店内)  
名古屋市中川区柳森町一〇七  
Tel 〇五二一三〇四一八八二〇  
西日本支部(太平洋基礎工業(株)大阪支店内)  
大阪府高槻市五領町二〇一八  
Tel 〇七二一六六九一〇一三一

## 能登半島地震レポート

二年前の六月一九日と昨年の五月五日と能登半島地震後に、当方は二回ほどその被害状況の視察と自治体への営業等を行ってきました。その中、揺れも阪神・淡路大震災に匹敵する今回の地震は、死傷者一五四〇名、住家被害一一、〇二八七棟(三月一六日現在)の多くの爪痕を残しました。当研究会は、現在まずは、目の届く範囲(会員様の相談案件)からの問い合わせ対応をしております。

その対応中に能登の各地域の被害状況も確認しております。



写真-8 4m近く隆起した鹿磯漁港



写真-7 相談応対状況

珠洲市にある石川県の天然記念物の見附島(2年前より撮影し、赤丸部分が崩壊箇所)



写真-13 2024/1/1地震 (2024/2/14撮影)



写真-12 2023/5/5地震 (2023/5/18撮影)



写真-11 2022/6/19地震 (2022/6/26撮影)



写真-10 ビル転倒現場 基礎梁が折れ、フーチングの裏には杭跡



写真-9 輪島朝市の火災現場 約300棟5800m2消失

の度は輪島の被害状況の写真添付しております。(写真:8、10) もちろん、他のエリアも被害は甚大です。石川県の復興には、まだ時間がかかりそうです。現行の対応しながら、徐々に他の被災者の方々の復興のお手伝いができればと思っております。

### お知らせ

研究会の皆様へ  
令和五年度定時総会  
二〇二四年六月一〇日(月)一六:〇〇  
会場は未定ですが、東京にて開催いたします。皆様のご参加をお待ちしております。宜しくお願致します。

# 会員紹介

研究会の目的の一つであります会員同志での協業によるシナジー効果を目指し、紙面にて順次会員の紹介をさせて頂きます。気になる技術や相談がありましたら、紹介協会の担当者へ問い合わせ願います。

## 会員紹介①

### 株式会社 南陽建設

代表取締役 古沢隆

会社所在地

〒八六九一四〇四

熊本県阿蘇郡南阿蘇村大字河陽三三六七

TEL 〇九六七七〇二〇二四

FAX 〇九六七七〇二〇二九

会社HP

<https://www.nanyo.co.jp/>

事業内容

土木事業：

相次ぐ災害や老朽化したインフラ整備の修繕等、人々が安心して快適な暮らしを送るための環境を整備していきます。

建築事業：

公共施設から民間施設、一般住宅まで、幅広い建築物について、高い品質と安全性、利用者が快適に過ごせる空間を提供していきます。

取り組み

昨今の建設業界における時代の変化に対応するために、弊社では土木工事のICT化に取り組んでいます。写真14・15では、GNSSにより重機の位置情報を把握することで無駄な動きを減らし、作業効率を上げています。写真16では、3D図面を用いることで、あらかじめ部品の干渉チェックや加工方法の検討、シミュレーション解析ができるため、ミスによる再設計の工数を削減できます。

株式会社南陽建設は、戦前、阿蘇の地に製材所を創業したから始まり約七〇年以上の歳月を歩んできました。現在は、総合建設業として地域社会との信頼関係を築きながら、土木・建築工

事に取り組んでいます。これからも、培ってきた信頼と高い技術力、責任感、誇りを胸に社員一同、団結し、精進して参ります。最後になりましたが、当研究会各社様のご発展とますますのご活躍をお祈り申し上げます。



写真-14 GNSS搭載重機



写真-15 位置情報モニター

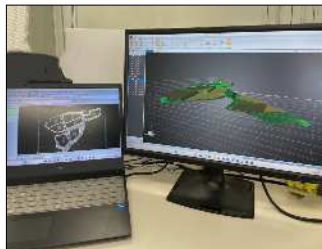


写真-16 3D図面

## 会員紹介②

### 日邦電機株式会社

代表取締役 田中 利典

住所：本社

〒五三二一〇〇七五

大阪市北区大淀南一九三〇

TEL 〇六六四五二一〇二八

FAX 〇六六四五二〇七二八

技術センター

〒五三二一〇〇七五

大阪市北区大淀南二二一八

キタノビル 七F

URL

<http://nabon.jp/>

#### 【営業目】

- ・ 施工管理装置の製造、販売、レンタル
- ・ クラウドシステムの開発
- ・ 受託開発（制御盤、ハードウェア・ソフトウェア・システムの設計開発）
- ・ リークテスターの製造、販売

#### 【経営理念】

三方よしの精神  
 買い手よし・お客様の利益につながり、満足していただける良い製品とサービスを提供する。売り手よし・自社の製品とサービスに自信と責任を持ち、相応の利益を確保する。

世間よし：会社存続のためには世間に受け入れられる存在でなくてはならない。また、社員に対しても物質的、精神的満足を与えられる会社を目指す。

弊社は創業以来四五年に亘り、前述の経営理念をもとにお客様の業務のお役に立てる商品作りという思いをもって建設機械向け安全装置や施工管理装置の設計・開発・製造・販売を行ってまいりました。ハードウェア、ソフトウェア、システムの全てを自社にて一貫通で行うことにより『開発から製造までの迅速化』と『お客様のニーズへの柔軟な対応』を実現しています。弊社の施工管理装置『SECORECO』は建機をばいじめとして、あらゆる重機に取付けが可能です。柱状改良や鋼管杭、既製コンクリート杭や杭抜き工事の施工データは、USBメモリ及び内蔵メモリに保存することが可能です。即座に感熱紙によるシート印刷もできます。画面上に数値とグラフをまとめ、m毎回転数やm毎流量をひと目で確認することができ、施工支援機能も搭載されており、重機オペレーター様をアシストいたします。上記内容以外にもご希望に合わせてカスタマイズいたしますのでお気軽にご相談ください。

また、弊社は建設業の二〇二四年問題解決に少しでも貢献できるような製品を開発、提供したいと考えており、その一助となる遠隔管理クラウドシステム『えんかくん』を販売しております。施工管理装置の表示部に取付けたWiFiフィルターから、計測データが自動で〇・五秒毎にクラウドサーバーにアップロードされます。遠隔地でも計測データはブラウザ経由で〇・五秒毎にリアルタイムで更新されるので、屋外や事務所からでも現場の施工状況や進捗状況がひと目で分かります。物件情報に紐づけて管理共有が可能ですので、ペーパーレス化に貢献いたします。施工記録表や報告書作成機能もございますので業務時間短縮にも繋がります。独自

フォーマット等のカスタマイズも可能ですので是非ご相談ください。

今後現場の声を反映し、省人化や作業効率の向上など、お客様の利益につながる製品・サービスの提供に尽力して参る所存でございます。その一環として参りまして、僣ながら本年五月二三日（水）より幕張メッセにて三日間開催される『第六回建設・測量生産性技術向上展』（CSPI EXPO）に出展いたします。ご来場の皆様にご意見賜れますと幸いです。何卒よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、当研究会各社様の益々のご発展とご活躍をお祈り申し上げます。



図-1 クラウドサーバーえんかくん



写真-17 管理装置取付 施工機械一例

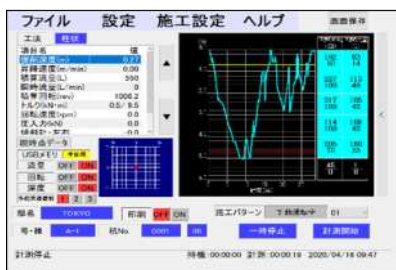


写真-18 管理装置 モニター画面

株式会社 アイテムボックス TEL 052-798-9901	<b>西日本支部</b>	<b>中日本支部</b>	<b>東日本支部</b>
株式会社 KGフローテクノ TEL 03-6402-5408	株式会社 ケンシンテクノ TEL 089-976-6444	株式会社 アップルハウス TEL 052-726-5246	株式会社 江機 TEL 03-3857-9870
株式会社 三興商会 TEL 06-6538-3671	株式会社 三東工業社 TEL 077-553-1111	株式会社 グランテック TEL 0766-91-6111	有限会社 K工業 TEL 024-563-7745
三和機材株式会社 TEL 03-6891-3456	太洋基礎工業株式会社 大阪支店 TEL 072-669-0126	株式会社 サン・エンジニア TEL 0776-83-1802	太洋基礎工業株式会社 東京支店 TEL 03-5753-1291
ソーダニッカ株式会社 TEL 052-561-9421	大栄テックス株式会社 TEL 0747-32-8300	勢州建設株式会社 TEL 059-382-5577	株式会社 テノックス TEL 03-3455-7792
長野油機株式会社 TEL 045-934-2555	株式会社 南陽建設 TEL 0967-67-0024	太洋基礎工業株式会社 名古屋支店 TEL 052-362-6352	横浜ライト工業株式会社 TEL 045-355-5500
日邦電機株式会社 TEL 06-6452-1118		株式会社 タケモト TEL 0562-34-3884	
株式会社ムラーアカム TEL 0567-55-3111	<b>賛助会員</b>		